

情報システム・バックアップオフィス研究会 第1回 議事録

(敬称略)

1. 会合概要

- ・ 開催日 : 2008年9月4日(木) 16:00~18:00
- ・ 開催場所 : BCAO本部 会議室
- ・ 進行役 : 大塚 純一 日本アイ・ビー・エム(株)(座長)
- ・ 議事録作成 : 川村 丹美 (株)シーエーシー
- ・ 出席者数 : 21名
- ・ 配布資料

アジェンダ

前回議事録

2. 議事内容

I. 事務局報告関連

- ・ 当研究会について
 - 主旨: 原則として一人1研究会に所属いただく
BCPの研究を行うことを目的とし、参加者は研究活動に従事する
- ・ 体制
 - 座長紹介: 大塚 純一(日本アイ・ビー・エム株式会社)
 - 副座長紹介: 関山 雄介(大成建設株式会社)
川村 丹美(株式会社シーエーシー)
 - コアメンバー紹介: 土橋 篤(みずほ情報総研)
衣笠 宗彦(株式会社モア・イフェクト)
羽石 将士(株式会社日立制作所)
間 博之(富士通エフ・アイ・ピー株式会社)

・ 研究会メンバー

【メンバー数】

登録済み研究会メンバー数 : 39名

座長・副座長 : 3名

研究会メンバー 計 : 42名

- ・ 前回議事録 (略)
- ・ 先月のイベント
 - 第三回月例講習会&意見交換会: 新型インフルエンザについて

- 使用したテキストは今後、外部に公開する方向で検討中
- 今後の予定
 - 9月26日 月例講習会予定

II. プレゼンテーション発表

- ・ 発表者：加藤 健 様（宇宙通信株式会社 事業カンパニー開発本部 新規事業開発部）

題名：「次世代データ分散ネットワークのご紹介」

概要：

- ・ 宇宙通信株式会社様が2009年よりサービス提供の開始を検討されている分散ネットワークのご紹介。
- ・ 分散および暗号化のしくみがもつ機能とそれらによって得られる様々なメリットについてのご説明。

質疑応答

Q：性能的には普通のストレージをアクセスするのと変わらないのか？

A：我々のしくみの中で見ればLAN上にあるのと変わらない。リモートで行う場合に線の太さに縛られる

Q：符号化の説明の部分で、ファイルを150個に分割した場合、1ブロックはどの程度の大きさなのか

A：512バイトで150個の束と想定している

Q：512バイトは固定なのか

A：固定ではなく、変えることは可能。512バイトにした理由はインターネットで情報を動かすときのパケットを想定しているためであり、LANの中で行うときはまた違う。

Q：一つのファイルサイズが大きいものはうまくいくが、文書ファイルなどの小さいものに対してはうまく行かないのでは

A：ここで提示して分割の単位などは一つの例である。小さいファイルを扱うときには、10個を30個に分割するなどの例もある

Q：データはオープン系、メインフレームなどに関係なくできるのか

A：ファイル単位で乗せられるものであれば可能

Q：OSは問わないのか

A：それほど影響を受けない。OSを吸収するのはドライバである。ソフトウェアとの交

信は独自のプロトコルで実施している。ファイル表示の分部のつくりで OS の違いを吸収している

Q：ビデオで読み出すほうが早いという話があった。分割して格納するのはだいぶ遅くなるのか

A：現在のものではひとつのインターフェースサーバが後ろのストレージとやりとりするが、2ギガくらいのマシンで行うと、書き込みは40メガ、読み出しは100メガ必要。マシンをよいものにすればまた違う。

Q：LAN を抜いたときに書き込んだ情報でも保証されるという説明の部分で、大丈夫であることの技術的な説明がほしい

A：情報を書き込もうとするときには他のところから情報を持ってくる サーバ同士で互いに情報を交換していて、復旧したものに対して不在の間の情報を渡す仕組みになっている

Q：ファイルサーバのウイルス対策はどこで検疫をかけるのか

A：ユーザ側でかけたいと考えている。内部であればインターフェースサーバ側でかけることが考えられる

もらったウイルス含めて暗号化でバラバラにしているので、このしくみの中では発症しないと考えられる データを返したらそちらで発症する可能性もある

Q：パスワードを管理するしくみはあるのか

A：パスワードはアドミンでは管理していないため、パスワードをデータのオーナー本人しか記憶していなかった場合には、それが失われたら二度と復元はできない(今のところ)。また、中身がバラバラでどれがどれだかわからなくなり、紐つき関係がわからないため、パスワード等がわからないと復元できないリスクはある。

Q：バックアップは災害対策以外、誤消去に対応するような、週次バックアップもできるのか

A：可能。いまの仕組みでは実際にはデータは上書きしていない。新旧両方のバージョンをもち、適切なタイミングで消去する(例：10世代は保存する、など)

Q：サービスを提供するということだが、このしくみ自体を売ることは予定しているか

A：ソフトウェアをライセンスで売ることは検討中。

しかし、大企業などでは実績を積んでからということになかなか相手にしてくれず、サービスを提供して保証する形のほうがアプローチしやすいため、今のよう形で提供する

ことにしている

Q：サービスでの提供だと、本人認証でパスワードを破られるリスクがあるので自社内におくのが最もセキュアではないか

A：まさにその通りである。

Q：シンクライアントにも使えそう

A：通信しているローカルのPCには断片しかないので開いて復元しないと情報を読み取れないのでセキュアである

Q：今後の予定は

A：9月2日に社内の経営からGOサインが出たので、来年の4月くらいからサービス開始を考えている

Q：今後、講演などを実施する予定があるか

A：特にない

以上。

III. 当研究会の今後の進め方について

個人情報の取扱いについて

名簿および個人情報の扱いについて

【決定事項】

- 今後のヤフーのブリーフケースおよび議事録への氏名、社名の掲載については、下記の考え方により希望しないメンバーのみ氏名または社名を削除することとし、希望の有無については事務局からメールにてヒアリングを行う
 - 個人情報にあたるため、名簿の扱いについては慎重にすべき
 - 会員内に閉じた情報であるため大きなリスクはないと考えられる
 - 自社に対して出席している証跡を提示する必要がある会員もいる
 - 個人会員で、社名を公表したくない会員もいる

開催曜日および時間の確認

- 毎月第一木曜日、16時開始で実施する

研究テーマについて

- 今年の研究テーマ：PAS 77
- 8人でPASの内容を翻訳、要約し、内容について7月に発表。

ヤフーのサイトにアップしている

- 4月の分科会で決まってから2ヶ月程度でまとめた
 - ということが書かれているかは把握できた
 - この文書はあくまでガイダンスである
 - 他に検討すべきと思われるガイドライン等：
 - PAS56 (ISO25999)
 - BS ISO/IEC2000 (ITIL)
 - BS ISO/IEC 17799:2005(ISMS)
 - 経済産業省が出したガイドライン
 - BCAOのテキスト
 - 業界団体のガイドライン など
- 研究会としての方針(大塚氏からの提案)
 - ・ 情報システムの視点で事業継続を考えていくために見識を広げる
 - ・ これらのガイドラインなどを研究して見識を高めることも必要なのではないか
 - IT サービスに特化したということについては業務のほうがメインだと感じる
 - 経産省のITサービスだと総務省からの「地方公共団体のITサービスの・・・」が出たがそれらにフォーカスするのも面白いのではないか
 - それぞれが違う立場で語っており違う内容になっているので、これらを横串で眺めてみるというやりかたもあるのではないか
 - これら进行评估する中で足りないものが何かを分析し、議論し、コンセンサスをまとめ上げるということも出来るのではないか
 - 内外規格・認証制度研究会が実施した研究では様々な規格を並べて整理するというを行っていた
 - 我々の研究会では、ITBO研究会として何が言えるかを追究していく活動が出来るのではないか
 - ・ アンケートの企画、アンケート調査の項目の提言などについても行ってきたい
 - ・ 事例発表(プレゼン)
 - 新規に参加した方々からもぜひ事例の発表をお願いしたい
 - ユーザ企業の取り組みについてもぜひご紹介いただきたい
 - プレゼンのテーマ候補：
 - JR東日本のSUICAのデータダム理論
(データをカード、センターなどに残すノウハウ：山浦氏ご提案)
 - インターネットの災害時の復旧計画

(大手町がやられるとダメになるのが昔の常識だったが、今はどうなっているのか、プロバイダなら情報があるのではないか)

その他

- ・ 幹事について
各回の議事録：名簿記載順に出席者が持ち回りで議事録を作成し、事務局がポータルにアップする
- ・ 会議資料について
議事資料は事前にポータルにアップするものを各自でダウンロード、必要に応じてプリントアウトして持参していただく。
- ・ 会議会場について
会議の会場は基本的にはBCAOの虎ノ門事務所を使用する

IV. 今後の開催予定

- ・ 第2回：10月2日 (議事録：青島氏)
- ・ 第3回：11月6日 (議事録：安藤様)
- ・ 資料訂正
誤：第5回 2月12日
正：第5回 2月5日

以上。